

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

受験番号兼申請番号	医・歯・技
-----------	-------

(この上の欄には記入しないで下さい)

西暦 20 年 月 日

症例番号	3
------	---

<p><b>医療機関：</b> 病院 睡眠医療センター 47歳 男性</p> <p><b>主訴および主症状：</b> いびき</p> <p><b>診断：</b> 睡眠時無呼吸症候群（軽度）</p> <p><b>既往歴：</b> ヘルニアの手術(平成10年)</p> <p><b>現病歴：</b> 以前よりいびきがあり、1年程前から日中の眠気を感じるようになった。近医より紹介され、精査目的で入院となった。</p> <p><b>家族歴：</b> 特記事項なし</p> <p><b>心身の一般的所見：</b> 心拍数 80 拍 / 分、呼吸数 15 / 分、血圧 134 / 86mmHg。 身長 167cm、体重 72Kg、BMI 25.8 kg/m<sup>2</sup>、ESS 9 / 24 点。</p> <p><b>臨床検査成績：</b> <u>採血による検査成績</u>は RBC 469 万 / <math>\mu</math>l、WBC 5200 / <math>\mu</math>l、Hgb 14.6 g/dl、Plt 21.1 万 / <math>\mu</math>l、fib 275mg/dl、AST 22 IU/l、ALT 28 IU/l、K 4.3mEq/l、T-cho 216mg/dl、TG 86mg/dl、HDL 78mg/dl、Glu 77mg/dl、IRI 147 <math>\mu</math>l/ml、HbA1c 5.1%であった。 <u>耳鼻科的</u>には問題なし。 <u>心電図</u>は特に異常を認めない。 <u>入院時 PSG の成績</u> 睡眠状態は TIB 433.5 分(7 時間 13.5 分)、SPT 430.5 分(7 時間 10.5 分)、TST 375 分(6 時間 15 分)。睡眠効率(TST/TIB <math>\times</math> 100) 86.6%。入眠後の覚醒時間 55.5 分。入眠潜時 7 分。REM 潜時 95 分。睡眠 stage 1 97.5 分(26%)、stage 2 196.5 分(52.5%)、stage 3 12 分(3.2%)、stage 4 0 分(0%)、REM 68.5 分(18.3%)であった。睡眠中の呼吸状態は AHI 15.1 回/時間で、無呼吸のタイプは閉塞性 7 回、中枢性 2 回、混合性 11 回、低呼吸 74 回であった。末梢血酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)は覚醒時 96%、睡眠中の平均 95%、最低 83%であった。その他 PLM は認めないが LM 52 回(index 8.3 回/時間)、arousal 116 回(index 18.6 回/時間)を認めた。 後日に口腔内装置(OA)装着下で再度 PSG 施行した。睡眠状態は S1 5.6%、S2 58.2%、S3 17.0%、S4 1.2%、REM 18.0%、AHI 4.7 回/時間、SpO<sub>2</sub> は平均 97%、最低 90%、arousal index 17.5 回/時間、LM index 6.0 回/時間と改善を認めた。</p> <p><b>鑑別診断：</b> いびき、無呼吸の指摘、ESS は 9 点であるが眠気の訴えあり、PSG では低呼吸が主体の呼吸イベントがみられ、AHI 15.1 回/時間、最低 SpO<sub>2</sub> は 83%であり、軽度の閉塞性睡眠時無呼吸症候群と診断した。食道内圧測定の記録はしておらず、上気道抵抗症候群は否定できない。</p> <p><b>治療方法：</b> OA の適応が考えられた。</p> <p><b>治療効果を含めた経過：</b> OA 装着下の PSG では睡眠呼吸障害の重症度は AHI が 15.1 から 4.7 と正常範囲内に改善したため、外来にて follow up 中である。</p>
---

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

上記の症例に関する診療あるいは検査および報告書作成を指導したことを確認します。 西暦 年 月 日 学会認定医,学会認定歯科医,学会認定検査技師 (学会認定証の番号: ) 所属診療科の長(該当する事項を 印で囲って下さい) 医療機関と診療料名および職名 病院 睡眠医療センター 部長 氏名 印	
審査員のコメント	
審査結果：合格,保留,不合格	担当審査員の氏名